

平成30年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	2. 広域行政推進事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	9. 企画費	担当所属	企画政策課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画		5年間計画額		
経常	単独	計画	0	0	37,695		第6章	ともに生き、支え合うまちづくり	平成28年度	-
							基本施策6	行財政運営の適正化	平成29年度	-
									平成30年度	-
							施策5	広域的な行政を推進します	平成31年度	-
								平成32年度	-	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		37,326

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								0
本年度当初査定額								37,326

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・印旛郡市広域市町村圏事務組合に構成団体負担金を支出します。</p> <p>・国・県等へ要望を提出します。</p> <p>・広域的な課題を他市町村と連携・調整します。</p>	<p>(事業の目的) ・市域を超えるニーズに対応します。</p> <p>・スケールメリットを活かせる事務について、事務の合理化を検討します。</p>	<p>(事業の効果) 事業主体の事業執行により、市民が市域を超えた行政サービスを受けられます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 団体の事業内容に対しては首長が出席する理事会に決定権があるため、事業見直しを要望しても直接的な効果が表れにくいという問題があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 印旛郡市広域市町村圏事務組合の予算額に対し、構成団体の均等割と人口割により毎年度の負担額が決定されるため、金額の増減があります。</p>	<p>(見積についての特記事項) 例年、11月末の一部事務組合の構成団体の企画担当課長会議で正確な請求額が提示されるため、歳出額の見積を29年度同額とします。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
19	37,326	37,541	△215

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	0	37,326	0